郡上八幡における観光者の地域資源に対する認識に関する研究

1X19D082-4　水野木綿*

近年観光形態はニューツーリズムへと変化し，それと共に観光者が注目する地域資源は多様化している．そうした中，潜在的な地域資源を顕在化させ，観光資源として活かす観光振興に取り組む地域も増えており，本研究の対象地である郡上八幡もそのひとつの地域である．そうした地域では，地域外の視点を持つ観光者の立場に着目する必要があるとされている．本研究では，郡上八幡における観光者の地域資源に対する認識を明らかにした．その結果，郡上八幡の観光者は観光スタイルにより「観光マップ型」「オリジナリティ追及型」「観光ツウ型」の 3 タイプに類型され，それぞれ関心のある地域資源が異なることが明らかになった．また，観光スタイルと到着地の 2 つの観光者特性による地域資源に対する認識の特徴を捉えた．そして，観光スタイルによって地域資源に対する認識の解像度が異なること，到着地と地域資源との位置関係又は到着地の周辺環境によって認識する地域資源が異なることが明らかになった．

Key Words：観光者，地域資源，郡上八幡，到着地，観光スタイル

1. はじめに

(1) 研究の背景と目的

日本の観光形態はニューツーリズムという新たな形態へと変化し，史跡など著名な地域資源だけでなく，日常的な生活や営みによって生成される地域資源にも注目が集まる．そして観光者の関心の対象となる地域資源は重層的かつ多様化している [1)].

こうした状況の中，潜在的な地域資源を発掘し観光資源として活用することで，観光者にとっての地域の魅力を高める観光振興に取り組む地域が増えている [2)]．そうした地域では地域資源を魅力的かつ持続的に活用するために，地域に根差した主体だけでなく地域外の視点を持つ主体の地域資源に対する認識を明らかにすることが望ましいとされる [3)].

本研究の対象地である郡上八幡が位置する岐阜県郡上市も，総合計画や観光振興ビジョンで，潜在的な地域資源の顕在化に取り組んでいる [4)].

以上の背景から，本研究は郡上八幡に訪れた観光者の実態を把握する基礎研究として，地域外の視点を持つ観光者の，郡上八幡の地域資源に対する認識の特徴と傾向を明らかにする．具体的には，観光者の経験や嗜好による観光スタイルと，到着地という 2 つの観光者特性から地域資源に対する認識を捉える．また地域資源に対する認識は，郡上八幡の事前イメージ・来訪時の第一印象・実際の印象として観光者が認識した地域資源に着目する．

(2) 研究対象地の概要と選定理由

郡上八幡は岐阜県郡上市八幡町の中心市街地を指す．郡上八幡は夏の伝統行事である郡上踊りを始め，郡上八幡城や神社などの史跡，城下町なごりの伝統的な町並みといった地域資源を有している．さらに，川の結節点となる地理的特徴や名水百選に選出された湧き水など水資源が豊富である．また水資源を活かした町の隅々に行き渡る水路や，地域特有の水利用システムが築かれており，水の町・郡上八幡ならではの生活文化が見られる．

以上のように，郡上八幡は顕在化した多様な観光資源で観光者を魅了すると共に，地域住民との交流や日常的な生活文化に触れる体験による魅力も兼ね備えている．よって多様で豊富な地域資源を持つ郡上八幡では，観光者の地域資源に対する認識も様々であると想定し，本研究の対象地として選定した．

2. 既存研究の整理と本研究の位置付け

(1) 既存研究の整理

a) 観光者の認識を扱う研究

観光者の認識を扱う研究では，来訪者が期待する八幡堀の構成要素に着目した和田ら [5)]の研究や，茶園景観において来訪者が好む景観の構成要素の役割を明らかにした奥ら [6)]の研究がある．

また観光者の地域資源に対する認識を捉えた研究では，来訪者の SNS 投稿から心象風景や魅力要因を

*早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 景観・デザイン 佐々木葉研究室 学部 4 年

捉えた岡田ら[7]の研究や，来訪者による地域資源の活用傾向に着目した前田ら[8]の研究が挙げられる．

さらに観光者の特性に着目した研究では，歴史的町並みのある地域における来訪目的を用いた赤沢ら[9]の研究や，観光者の消費行動によって観光者の類型を行った島本[10]の研究が挙げられる．

b)　郡上八幡を対象とした研究

郡上八幡を対象とした研究では，地域資源である町並みや水利用に関する研究[11][12]や，郡上八幡での地域行事や地域認識に着目した研究[13]がある．これらは主に郡上八幡の住民による活動や意識に付随する地域資源の特色を明らかにしている．観光者を扱った研究では，土田[14]による商店街店舗に対する価値意識に関する研究が挙げられる．

(2)　本研究の位置づけ

観光者に着目した研究では，行動実態や回遊行動など観光行動に関する研究が多くみられ，地域に対する認識を扱う研究は十分とは言えない．また観光者の特性を扱う研究では，属性や観光行動の特性を扱う研究が多く，観光者の経験や嗜好による特性を扱う研究は少ない．郡上八幡では，地域資源と住民の活動や意識を扱う研究が多く，地域外の視点に着目した研究は少ない．よって本研究は郡上八幡の観光者の認識と観光スタイルによる特性を扱うことに新規性があり，郡上八幡の観光分野の新たな示唆を得ることを目指す．

3.　アンケート調査概要と結果の集計

(1)　アンケート調査の概要と集計結果

本研究では郡上八幡の観光者に向けて，Google フォームによるアンケート調査を実施した．アンケートのリンクを記載したアンケート用紙をまちの店舗に設置し，実際に訪れた観光者から回答を得た．また調査期間中に筆者が直接観光者に声をかけアンケート用紙を配布した．アンケート調査の概要を**表-1**に，アンケートの集計結果を**表-2**に示す．

表-1　アンケート調査の概要

アンケート調査の配布要領	
対象者	郡上八幡に訪れた来訪者
配布方法	店舗への設置，手渡し
回答方法	GoogleフォームによるWEBアンケート
配布日時	2023年10月30日～2023年12月3日
回答数	115件(2023年12月3日締切)

アンケート用紙の設置場所		
	店舗名	店舗種類
①	cafe COCOCHI	カフェ
②	gugulab ググラボ	中古家具店
③	ITO CAFÉ	カフェ
④	SUPPLE COFFEE ROASTERS	カフェ
⑤	天野屋	飲食店
⑥	郷土料理 大八	飲食店
⑦	郡上八幡 旧庁舎記念館	観光案内施設
⑧	郡上銘茶　小那比園	軽食店
⑨	創作和小物カフェ 花篭	雑貨屋，カフェ
⑩	創作和小物カフェ 花篭 別館	雑貨屋，カフェ
⑪	蕎麦正まつい 郡上八幡店	飲食店
⑫	そばの平甚 本店	飲食店
⑬	ひがしのくま家 おかずや 五代目	軽食店
⑭	吉田屋　美濃錦	飲食店

アンケート調査の質問項目	
今回の来訪形態について	
1	来訪人数
2	同伴者との関係
3	来訪回数
4	案内の有無
5	事前調べの有無
6	到着地
7	到着地への交通手段
8	到着日時
9	滞在時間(予定を含む)
10	来訪目的
回答者の属性と観光スタイル	
11	性別
12	年齢
13	居住地
14	旅行の注目
15	旅行の楽しみ方
16	旅行頻度
17	歩くことが好きか
18	地理的方向感覚
郡上八幡の事前イメージ・実際の印象として認識した地域資源	
19	訪れる前までの，あなたの「郡上八幡」のイメージ
20	到着して，一番最初に印象的だったこと
21	町並みについて印象的だったもの
22	まちの建物について印象的だったもの
23	郡上八幡の自然について印象的だったもの
24	郡上八幡の水文化について印象的だったもの
25	飲食店や販売店で印象的だったお店
26	その他印象的だった場所や様子

(2)　観光スタイルによる観光者の類型化

アンケート調査で観光スタイルを示す「旅行頻度」「歩くことが好きか」「地理的方向感覚」「旅行の注目」「旅行の楽しみ方」の 5 項目からクラスター分析を行い，観光者を CL1～CL3 の 3 類型に分類した．クラスター分析によるデンドログラムを**図-1**に示す．

a)　CL1「観光マップ型」

CL1 全体の 94%が「1 年に 1 回程度以下」「半年に 1 回程度」と，旅行頻度が少ない傾向がある．旅行の注目は全体の 53%が「食・グルメ」「自然」「歴史・史跡」である．旅行の楽しみ方は全体の 41%が「観光スポットを巡る」であった．以上より，比較的旅

表-2　アンケートの集計結果

性別(106)	
女性	54
男性	52

年代(106)	
20代以下	21
30代	18
40代	16
50代	15
60代	25
70代	11

居住地(106)	
愛知県	49
岐阜県	14
大阪府	8
東京都	6
三重県	6
長野県	5
兵庫県	4
石川県	2
富山県	2
千葉県	2
神奈川県	2
埼玉県	2
その他	4

旅行頻度(106)	
1年に1回程度以下	23
半年に1回程度	30
3か月に1回程度	40
1か月に1回程度以上	13

歩くことが好きか(106)	
好き	47
そこそこ好き	29
普通	19
あまり好きでない	11

地理的方向感覚(106)	
かなり得意	17
やや得意	35
どちらでもない	33
あまり得意ではない	17
全く得意でない	4

旅行の注目(282)	
食・グルメ	59
町並みや建物	49
川や緑などの自然	43
歴史・史跡	32
体感する心地よさ	24
特有の生活文化	21
まちの人の暮らし	14
飲食店や販売店などのお店	14
目に映る色彩	9
産直食材・名産品	9
伝統的な技術	8

旅行の楽しみ方(193)	
観光スポットを巡る	59
食事をする	42
絶景を見る	34
リラックスする	25
生活や暮らしに触れる	14
歴史を学ぶ	8
お土産を選ぶ	6
人と出会う・関わる	5

来訪回数(106)	
初めて	46
2回目	24
3回目	8
4回目	6
5回以上	22

来訪人数(106)	
ひとり(同行者なし)	8
2人	50
3人	16
4人	14
5人以上	18

同伴者との関係(106)	
ひとり旅	8
友人との旅行	28
カップル旅行	8
夫婦旅行	25
家族旅行	23
職場や学校の団体旅行	10
その他	4

来訪目的(106)	
観光スポットを見物する	56
自然を楽しむ	15
グルメを楽しむ	11
まちの生活に触れる	6
伝統的な技術に触れる	4
家族や友人に会う	4
歴史をまなぶ	3
ショッピングをする	1
お祭り・イベントへ参加する	1
その他	5

到着地(106)	
郡上八幡駅	22
駐車場	57
バス停(城下町プラザ)	18
その他	9

交通手段(106)	
鉄道	19
自家用車	58
レンタカー	7
観光バス	8
高速バス	10
その他	4

到着時間(106)	
午前	57
昼頃	42
午後	6
夕方以降	1

滞在時間(106)	
1～3時間	59
4～6時間	35
1泊	9
2泊	3

案内の有無(106)	
はい	14
いいえ	92

事前調べの有無(106)	
かなり調べた	6
すこし調べた	60
調べていない	40

郡上八幡の事前イメージ(289)	
郡上踊り	73
郡上八幡城	42
城下町の町並みや町割り	32
昔ながらの町家	28
水路	19
山に囲まれた地形	15
川(長良川や吉田川など)	15
水利用システム(カワド、水舟、井戸など)	14
緑豊かな山々	12
歩いて回る観光スタイル	12
郷土料理や名物グルメ	10
郡上八幡発祥の技術や商品(食品サンプルやシルクスクリーンなど)	6
伝統的な技術や商品(郡上本染や郡上紬など)	4
宗祇水	4
郡上八幡駅	2
寺院	1
アウトドアスポーツ	0

来訪時の第一印象(106)	
郡上八幡城が山の上にあった	22
まちが山々に囲まれていた	17
川の水が綺麗だった	12
町並みが伝統的だった	9
郡上八幡駅舎が古風だった	6
まちに活気があり賑わっていた	6
水音がよく聞こえた	5
自動車の交通量が多かった	5
まちなかが観光地化していた	5
城下町の町並みに統一感があった	4
昔ながらの町家が多かった	4
周囲の山の紅葉が綺麗だった	2
特産品や名物グルメが美味しそうだった	2
駅舎が木造平屋だった	2
空気が綺麗だった	2
水路がまちに張り巡らされていた	1
飲食店や販売店が多かった	1
新しい建物が多かった	0
人が少なく寂しい雰囲気だった	0
特に印象はない	0
その他	1

実際の印象〈町並み〉(413)	
城下町らしい町並み	48
伝統的な町並み	43
川岸の町並み	42
木造の建物の並び	38
古い建物と新しい建物が混在した町並み	31
隣家との距離が近い町並み	25
飲食店や雑貨店	24
車通りの多さ	22
生活感ある町並み	21
城下町なごりの町割り	19
軒が並んだ町並み	16
碁盤の目に交差する道路や水路	16
色彩に統一感ある町並み	16
家前の植栽	10
町並みの中の緑	7
人通りの多さ	7
建物の高さが揃った町並み	6
工事中の建物	5
密閉感のある町並み	4
人通りの少なさ	4
新しい建物	4
車通りの少なさ	3
開放的な町並み	2

実際の印象〈建物〉(333)	
川や水路へ降りる階段	37
昔ながらの町家	35
町を見下ろす郡上八幡城	34
昔ながらの地元商店	29
町家の間口の狭さ、奥行の長さ	24
町家のたたずまい	23
川辺の建物	23
山頂にある郡上八幡城	23
郡上八幡城の存在	16
飲食店・雑貨店	16
木造の建物	13
軒下の消火用バケツ	13
町家の細部の造り	8
建物の色彩・色合い	7
格子状の設え	6
お店のデザイン	4
住人の生活感	4
坪庭や中庭	4
家前の植栽	4
新しい建物	4
空き家	3
工事中の建物	2
品揃え	1

実際の印象〈自然〉(450)	
まちなかに巡る水路	51
水路や川による水音	44
吉田川の綺麗さ	43
川水の透明度	37
まちなかに流れるいくつもの川	36
空気の綺麗さ	33
まちなかで聴こえる水音	31
周囲の山々	30
山々による囲われ感	27
魚(鯉や鮎など)	22
紅葉	19
川の恵み	15
家の前の植栽	13
周囲の山との距離	13
川水の量	12
緑の多さ	12
川や川辺で過ごす人々	7
水鏡や水面の様子	3
まちなかで整備された緑	2

実際の印象〈水文化〉(388)	
まちなかに張り巡らされた水路	52
水路沿いの遊歩道(いがわ小径、やなか水のこみちなど)	50
湧き水(宗祇水など)	46
まちなかで聴こえる水音	40
伝統的な水文化による景観	36
共同で水を利用する暮らし	24
水路や水利用のシステムや技術	20
カワドや洗い場	19
碁盤の目に沿って流れる水路	19
家の前のエイ箱	18
立体的な水路の構造	18
井戸	16
水文化による人の繋がり	10
水利用施設の維持・管理	8
水舟	8
せぎ板	4

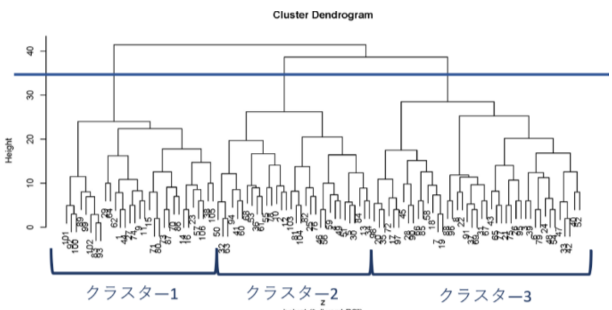

図-1　クラスター分析のデンドログラム

行慣れしておらず，一般的に観光マップで記載される観光スポット化した資源に注目する傾向があるとして，観光マップ型とした．

b)　CL2「オリジナリティ追及型」

旅行頻度は全体の 43%が「3 か月に 1 回程度」である．観光庁の調査[15]によると，年間の日本国民 1 人当たりの旅行平均回数は 1.36 回/人であることから，比較的旅行頻度が高いといえる．また，歩くことは全体の 75%が「そこそこ好き」と回答している．旅行の注目は 27%が「食・グルメ」，14%が「自然」と，観光マップ型と似て観光スポット化した資源に回答が集まる中，他と比較して「体感する心地よさ」「産地食材・名産品」「伝統的な技術」にも回答が集まった．また旅行の楽しみ方も全体の 32%が「食事をする」である中，他と比較して「観光スポットを巡る」が少なく，「お土産を選ぶ」が多いことが特徴的である．以上より，比較的旅行慣れしており，一般的な観光資源に加え，地域特有の資源に関心があるとしてオリジナリティ追及型とした．

c)　CL3「観光ツウ型」

旅行頻度について全体の 58%が「3 か月に 1 回程度」であり，加えて「1 か月に 1 回程度以上」の回答のうち 60%以上が CL3 であることから，非常に旅行頻度が高いといえる．歩くことは全体の 84%が「好き」，地理的方向感覚は全体の 79%がやや又はかなり「得意」と回答していることが特徴的である．旅行の注目は 26%が「町並みや建物」で，他と比較して「特有の生活文化」「町の人の暮らし」「目に映る色彩」に回答が集まった．旅行の楽しみ方も，他と比較して「生活や暮らしに触れる」の回答が多い．以上より，かなり旅行慣れしており，人や人の活動による資源に関心があるとして，観光ツウ型とした．

(3)　観光スタイルと郡上八幡の来訪形態との関係

観光スタイルによる 3 タイプの観光者によって，実際の郡上八幡の来訪形態にどんな特徴があるか把握するため，観光スタイルによる類型と郡上八幡の来訪形態との関係を捉えた．具体的には，来訪形態を示す「来訪回数」「来訪人数」「同伴者との関係」「到着地」「交通手段」「案内の有無」「事前調べの有無」「到着時間」「滞在時間」「来訪目的」の 10 項目と観光スタイルによる類型とを用いてクロス集計表を作成した（**表-3**）．カイ二乗検定により「来訪人数」「事前調べの有無」「同伴者との関係」の 3 項目で 10%水準を，「来訪目的」で 5%水準を満たし，統計的に有意であった．クロス集計表から読み取った各類型の傾向を**表-4** に示す．結果，各類型の観光スタイルの傾向が反映された来訪形態が示された．

表-3　観光スタイルと来訪形態とのクロス集計表

		合計	クラスター1	クラスター2	クラスター3	p値
来訪人数 (n=106)	ひとり(同行者なし)	9	2	2	5	0.632
	2人	50	8	19	23	0.016
	3人	16	7	3	6	0.330
	4人	14	7	1	6	0.073
	5人以上	17	7	7	3	0.110
	全体	106	31	32	43	0.053
来訪回数 (n=106)	初めて	46	17	15	14	0.145
	2回目	24	5	9	10	0.520
	3回目	8	4	1	3	0.334
	4回目	6	2	1	3	0.755
	5回以上	22	3	6	13	0.094
	全体	106	31	32	43	0.301
事前調べの有無 (n=106)	かなり調べた	6	0	3	3	0.243
	すこし調べた	60	13	20	27	0.147
	調べていない	40	18	9	13	0.021
	全体	106	31	32	43	0.057
案内の有無 (n=106)	はい	14	3	5	6	0.771
	いいえ	92	28	27	37	0.771
	全体	106	31	32	43	0.771
同伴者の関係 (n=102)	ひとり旅	8	2	1	5	0.351
	友人との旅行	28	12	9	7	0.080
	カップル旅行	8	1	4	3	0.417
	夫婦旅行	25	2	7	16	0.008
	家族旅行	23	10	7	6	0.146
	職場や学校の団体旅行	10	2	4	4	0.763
	全体	102	29	32	41	0.056
到着地 (n=97)	郡上八幡駅	22	7	6	9	0.866
	駐車場	57	13	21	23	0.171
	バス停(城下町プラザ)	18	9	4	5	0.118
	全体	97	29	31	37	0.272
交通手段 (n=102)	自家用車	58	14	18	26	0.367
	高速バス	10	5	1	4	0.211
	観光バス	8	5	3	0	0.032
	鉄道	19	6	6	7	0.945
	レンタカー	7	0	3	4	0.209
	全体	102	30	31	41	0.111
到着時間 (n=105)	午前	57	14	23	20	0.057
	昼頃	42	15	8	19	0.102
	午後	6	1	1	4	0.419
	全体	105	30	32	43	0.136
滞在時間 (n=103)	1～3時間	59	19	19	21	0.600
	4～6時間	35	9	10	16	0.656
	1泊	9	3	2	4	0.865
	全体	103	31	31	41	0.868
来訪目的 (n=98)	観光スポットを見物する	56	22	16	18	0.096
	自然を楽しむ	15	4	1	10	0.024
	グルメを楽しむ	10	0	7	3	0.012
	まちの生活に触れる	6	2	2	2	0.973
	伝統的な技術に触れる	4	0	4	0	0.011
	家族や友人に会う	4	2	0	2	0.368
	歴史をまなぶ	3	0	1	2	0.441
	全体	98	30	31	37	0.005

※カイ二乗検定のp値が10%水準を満たす場合黄色で着色，5%水準を満たす場合赤色で着色．

表-4　観光スタイルによる郡上八幡の来訪形態の特徴

	クラスター1 観光マップ型	クラスター2 オリジナリティ追及型	クラスター3 観光ツウ型
来訪人数	複数人（3人・4人・5人以上）	2人・5人以上	2人・ひとり
同伴者との関係	友人との旅行 家族旅行	カップル旅行 団体旅行	夫婦旅行 ひとり旅行
来訪回数	初めて	初めて・2回目・5回以上	5回以上
事前調べ	調べていない	すこし調べた	すこし調べた・調べていない
案内の有無	なし	なし	なし
交通手段	観光バス	自家用車	自家用車
到着地	バス停	駐車場	駐車場
到着時間	午前・昼頃	午前	昼頃・午後
滞在時間	1~3時間	1~3時間	4~6時間
来訪目的	観光スポットを見物する	グルメを楽しむ 伝統的な技術に触れる	自然を楽しむ

※カイ二乗検定で10%水準を満たした項目を黄色，5%水準を満たした項目を赤色で着色．

4. 観光スタイルと郡上八幡の地域資源の関係

(1) 分析方法

本章では観光者の観光スタイルと郡上八幡の地域資源との関係を把握するため，第 3 章で示した観光スタイルによる類型と観光者が認識した地域資源とを用いてクロス集計表を作成し，特徴と傾向を明らかにする．観光者が認識した地域資源は，事前イメージ・第一印象・実際の印象として認識された地域資源を扱う．アンケート調査では実際の印象について，町並み・建物・自然・水文化の 4 ジャンルに分けて回答を収集したため，ジャンルごとに観光スタイルとの関係を捉える．また，アンケート調査で用いた回答の選択肢を，地域資源の種類と具体度が似た要素でまとめて分類した項目を用いて分析を行う．選択肢の分類表を**表-5** に示す．

以上の条件のもと，観光スタイルの 3 類型と郡上八幡の事前イメージ・第一印象・実際の印象〈町並み・建物・自然・水文化〉として認識した 6 項目の地域資源とを用いてクロス集計表を作成し，カイ二乗検定を行った（**表-6**）． 結果，実際の印象〈町並み〉で 5%水準を，実際の印象〈建物〉で 10%水準を満たし統計的有意差が示された．またクロス集計表から顕著に回答された又は回答されなかった地域資源と, 全体で共通して回答された地域資源を抽出し, 特徴と傾向を読み取り整理したものを**図-2** に示す.

(2) 観光スタイルによる地域資源に対する認識の特徴

CL1 では，第一印象で「まちなかの観光地化」を感じ，実際の印象〈町並み〉で「町並みの動的な要素」を認識したことから，人や車の量などの動的な要素からまちなかの観光地化を感じたという関連が推察される．また実際の印象〈町並み〉で「歴史性のある町並み」, 実際の印象〈建物〉で「町屋の存在」を認識しており，町屋は歴史性のある町並みの主な構成要素であることから，関連性があると考えられる．さらに，実際の印象〈建物〉では「町屋の存在」を認識したが「町屋の具体的な特徴」は認識していない．加えて，実際の印象〈水文化〉でも「水路」は認識したが「郡上八幡特有の水利用施設」は認識していない．以上から，地域資源に対して解像度の低い認識をする傾向を読み取ることができる．

表-5 アンケート調査で用いた選択肢の分類

「印象的だった町並み」の選択肢分類
歴史性のある町並み
城下町らしい町並み
伝統的な町並み
木造の建物の並び
特徴的な町並み
古い建物と新しい建物が混在した町並み
川岸の町並み
色彩に統一感ある町並み
生活感ある町並み
町並みの細かな特徴
建物の高さが揃った町並み
軒が並んだ町並み
隣家との距離が近い町並み
構造的な町並みの特徴
城下町なごりの町割り
碁盤の目に交差する道路や水路
町並みの中の現代的な建物
新しい建物
工事中の建物
町並みの中の動的な要素
車通りの多さ
車通りの少なさ
人通りの少なさ
人通りの多さ
身体感覚による町並みの雰囲気
開放的な町並み
密閉感のある町並み
町並みを構成する緑
家前の植栽
町並みの中の緑
町並みを構成する店
飲食店や雑貨店

「印象的だった建物」の選択肢分類
郡上八幡城の存在
郡上八幡城の存在
郡上八幡城の立地
町を見下ろす郡上八幡城
山頂にある郡上八幡城
町屋の存在
昔ながらの町家
町家のただずまい
町屋の具体的な特徴
建物の色彩･色合い
町家の細部の造り
町家の間口の狭さ、奥行の長さ
格子状の設え
木造の建物
店の存在
飲食店･雑貨店
昔ながらの地元商店
店の具体的な様子
品揃え
お店のデザイン
川沿いの建物
川や水路へ降りる階段
川辺の建物
現代的な建物
新しい建物
空き家
工事中の建物
建物の前の設えの現れ
軒下の消火用バケツ
住人の生活感
坪庭や中庭
家前の植栽

「印象的だった自然」の選択肢分類
川･水路
川や川辺で過ごす人々
水鏡や水面の様子
川水の透明度
吉田川の綺麗さ
川水の量
川の恵み
まちなかに流れるいくつもの川
まちなかに巡る水路
魚（鯉や鮎など）
山
周囲の山々
周囲の山との距離
山々による囲われ感
緑
家の前の植栽
紅葉
緑の多さ
まちなかで整備された緑
水音
まちなかで聴こえる水音
水路や川による水音
空気
空気の綺麗さ

「印象的だった水文化」の選択肢分類
水路
水路沿いの遊歩道（いがわ小径、やなか水のこみちなど）
まちなかに張り巡らされた水路
郡上八幡特有の水利用施設
水舟
せぎ板
カワドや洗い場
家の前のエイ箱
昔ながらの水利用施設
井戸
水路システムと構造
水路や水利用のシステムや技術
立体的な水路の構造
碁盤の目に沿って流れる水路
水文化と人の繋がり
水文化による人の繋がり
水利用施設の維持･管理
共同で水を利用する暮らし
水景観と水音
まちなかで聴こえる水音
伝統的な水文化による景観
湧き水
湧き水（宗祇水など）

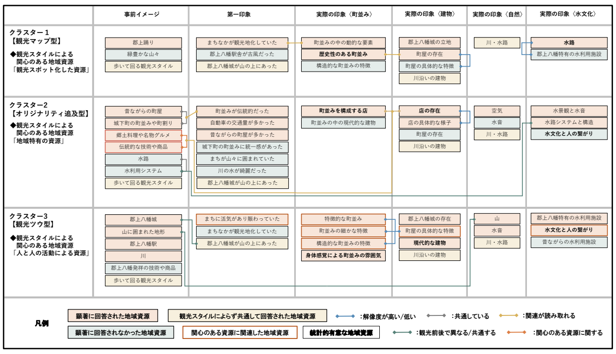

図-2 観光スタイルによる認識した地域資源の特徴

表-6 観光スタイルと地域資源とのクロス集計表

	選択肢	総数	実測値 クラスター1	実測値 クラスター2	実測値 クラスター3	クラスターごとに占める割合(実測値による) クラスター1	クラスター2	クラスター3	p値
事前イメージ（n=289）	回答数	289	81	90	118	100.0%	100.0%	100.0%	0.836
	郡上踊り	73	23	22	28	28.4%	24.4%	23.7%	0.741
	郡上八幡城	42	10	11	21	12.3%	12.2%	17.8%	0.425
	昔ながらの町家	28	8	10	10	9.9%	11.1%	8.5%	0.815
	城下町の町並みや町割り	32	9	12	11	11.1%	13.3%	9.3%	0.659
	水路	19	6	4	9	7.4%	4.4%	7.6%	0.616
	緑豊かな山々	12	2	5	5	2.5%	5.6%	4.2%	0.599
	郷土料理や名物グルメ	10	2	6	2	2.5%	6.7%	1.7%	0.128
	山に囲まれた地形	15	4	3	8	4.9%	3.3%	6.8%	0.536
	歩いて回る観光スタイル	12	4	4	4	4.9%	4.4%	3.4%	0.853
	郡上八幡発祥の技術や商品（食品サンプルやシルクスクリーンなど）	6	2	3	1	2.5%	3.3%	0.8%	0.441
	水利用システム（カワド、水舟、井戸など）	14	5	3	6	6.2%	3.3%	5.1%	0.680
	伝統的な技術や商品（郡上本染や郡上紬など）	4	1	3	0	1.2%	3.3%	0.0%	0.124
	郡上八幡駅	2	0	0	2	0.0%	0.0%	1.7%	0.232
	川（長良川や吉田川など）	15	4	3	8	4.9%	3.3%	6.8%	0.536
	宗祇水	4	1	1	2	1.2%	1.1%	1.7%	0.930
	寺院	1	0	0	1	0.0%	0.0%	0.8%	0.483
第一印象（n=105）	回答数	105	31	31	43	100.0%	100.0%	100.0%	0.606
	郡上八幡城が山の上にあった	22	7	6	9	22.6%	19.4%	20.9%	0.952
	まちが山々に囲まれていた	17	6	3	8	19.4%	9.7%	18.6%	0.501
	川の水が綺麗だった	12	4	2	6	12.9%	6.5%	14.0%	0.578
	町並みが伝統的だった	9	2	4	3	6.5%	12.9%	7.0%	0.589
	郡上八幡駅舎が古風だった	6	0	3	3	0.0%	9.7%	7.0%	0.233
	まちに活気があり賑わっていた	6	1	1	4	3.2%	3.2%	9.3%	0.419
	水音がよく聞こえた	5	2	1	2	6.5%	3.2%	4.7%	0.836
	自動車の交通量が多かった	5	0	3	2	0.0%	9.7%	4.7%	0.202
	まちなかが観光地化していた	5	3	2	0	9.7%	6.5%	0.0%	0.136
	城下町の町並みに統一感があった	4	2	0	2	6.5%	0.0%	4.7%	0.386
	昔ながらの町家が多かった	4	0	3	1	0.0%	9.7%	2.3%	0.111
	周囲の山の紅葉が綺麗だった	2	1	1	0	3.2%	3.2%	0.0%	0.493
	特産品や名物グルメが美味しそうだった	2	1	0	1	3.2%	0.0%	2.3%	0.627
	駅舎が木造平屋だった	2	1	1	0	3.2%	3.2%	0.0%	0.493
	空気が綺麗だった	2	0	1	1	0.0%	3.2%	2.3%	0.627
	水路がまちに張り巡らされていた	1	0	0	1	0.0%	0.0%	2.3%	0.483
	飲食店や販売店が多かった	1	1	0	0	3.2%	0.0%	0.0%	0.300
実際の印象〈町並み〉（n=409）	回答数	409	115	128	166	100.0%	100.0%	100.0%	0.045
	身体感覚による町並みの雰囲気	6	0	1	5	0.0%	0.8%	3.0%	0.088
	町並みの中の現代的な建物	5	2	0	3	2.6%	0.8%	3.0%	0.315
	町並みの中の動的な要素	36	14	12	10	12.1%	9.3%	6.0%	0.194
	町並みの細かな特徴	47	10	12	25	8.6%	9.3%	14.9%	0.172
	町並みを構成する緑	17	4	7	6	3.4%	5.4%	3.6%	0.667
	歴史性のある町並み	129	45	39	45	38.8%	30.2%	26.8%	0.098
	特徴的な町並み	110	28	34	48	24.1%	26.4%	28.6%	0.694
	町並みを構成する店	24	7	12	5	6.0%	9.3%	3.0%	0.070
	構造的な町並みの特徴	35	5	11	19	4.3%	8.5%	11.3%	0.018
実際の印象〈建物〉（n=445）	回答数	445	126	133	186	100.0%	100.0%	100.0%	0.057
	郡上八幡城の立地	65	25	19	21	19.8%	14.3%	11.3%	0.110
	郡上八幡城の存在	23	4	5	14	3.2%	3.8%	7.5%	0.159
	店の存在	62	13	27	22	10.3%	20.3%	11.8%	0.038
	店の具体的な様子	7	2	2	3	1.6%	1.5%	1.6%	0.997
	現代的な建物	13	2	1	10	1.6%	0.8%	5.4%	0.031
	川沿いの建物	78	23	24	31	18.3%	18.0%	16.7%	0.920
	建物の前の設えの現れ	40	14	11	15	11.1%	8.3%	8.1%	0.615
	町屋の具体的な特徴	80	16	26	38	12.7%	19.5%	20.4%	0.186
	町屋の存在	77	27	18	32	21.4%	13.5%	17.2%	0.244
実際の印象〈自然〉（n=450）	回答数	450	128	127	195	100.0%	100.0%	100.0%	0.298
	山	70	18	17	35	14.1%	13.4%	17.9%	0.467
	緑	46	14	16	16	10.9%	12.6%	8.2%	0.424
	水音	75	21	15	39	16.4%	11.8%	20.0%	0.156
	空気	33	8	14	11	6.3%	11.0%	5.6%	0.166
	川・水路	226	67	65	94	52.3%	51.2%	48.2%	0.743
実際の印象〈水文化〉（n=388）	回答数	388	112	105	171	100.0%	100.0%	100.0%	0.120
	水景観と水音	76	20	22	34	17.9%	21.0%	19.9%	0.841
	郡上八幡特有の水利用施設	49	10	11	28	8.9%	10.5%	16.4%	0.135
	湧き水	46	12	14	20	12.5%	17.1%	14.6%	0.834
	水路システムと構造	57	14	18	25	10.7%	4.8%	14.6%	0.627
	水文化と人の繋がり	42	12	5	25	10.7%	13.3%	11.7%	0.038
	水路	102	38	29	35	33.9%	27.6%	20.5%	0.040
	昔ながらの水利用施設	16	6	6	4	5.4%	5.7%	2.3%	0.289

※カイ二乗検定のp値が10%水準を満たす場合黄色で着色．5%水準を満たす場合赤色で着色．

CL2 では，事前イメージで「昔ながらの町屋」や「城下町の町並みや町割り」，第一印象で「町並みが伝統的だった」と感じており，歴史的な地域資源を強く認識している．一方「水路」や「水利用システム」といった水に関する地域資源を事前イメージとして認識していない．しかし，実際の印象〈水文化〉で「水路システムと構造」が認識されており，事前イメージからの変化が見られる．また CL2 が関心のある地域特有の資源に関連した「郷土料理や名物グルメ」「伝統的な技術や商品」を事前イメージとして認識している．さらに実際の印象〈建物〉では「店の具体的な様子」を認識しており，店に対する認識は解像度が高いといえる．ここでの店は郷土料理や伝統的な商品を提供する飲食店や販売店と考えられ，関心のある資源との関連性が読み取れる．

CL3 は実際の印象で「特徴的な町並み」や「町並みの細かな特徴」，「構造的な町並みの特徴」，「町屋の具体的な特徴」を認識しており，地域資源に対して解像度高く認識する傾向がある．また解像度高く認識した町並みと建物は，観光スタイルを示す旅行の注目と一致しており，町並みや建物は人の活動が現れるため，関心のある資源との関連性が読み取れる．さらに第一印象で「まちに活気があり賑わっていた」と感じており，これも関心のある人や人の活動と関連していると考えられる．そして事前イメージで「郡上八幡城」を認識しているが，第一印象で「郡上八幡城が山の上にあった」とあり，郡上八幡城の立地が印象的であったといえる．

5. 到着地と郡上八幡の地域資源の関係

(1) 分析方法

本章では，来訪時の到着地と郡上八幡の地域資源との関係を把握するため，第 4 章と同様の方法で到着地と観光者が認識した地域資源とを用いてクロス集計表を作成し(**表-7**), 特徴と傾向を明らかにした．カイ二乗検定の結果地域資源の 6 項目のうち，第一印象と実際の印象〈町並み〉，実際の印象〈建物〉，実際の印象〈自然〉の 4 項目で 5%水準を満たし統計的有意であった．到着地については，一般的に郡上八幡の来訪で利用されるバス停〈城下町プラザ〉・郡上八幡駅・駐車場を対象とした．また，第 4 章と同様にクロス集計表をから特徴と傾向を読み取り整理したものを**図-3** に示す．

(2) 到着地による地域資源に対する認識の特徴

城下町プラザでは第一印象や実際の印象〈町並み〉で「まちなかが観光地化していた」，「町並みの中の動的な要素」,「町並みを構成する店」が回答された．これらは城下町プラザが観光バスの停車場であることなどから周辺環境が観光者向けの店や施設が多く，それに伴い人や車の量が多いことが要因と考えられる．また第一印象の「郡上八幡城が山の上にあった」や実際の印象〈自然〉の「山」に対する認識は，城下町プラザが郡上八幡城のある山の麓に位置していることが要因と推察される．さらに実際の印象〈建物〉で「川沿いの建物」が認識されていないことは，城下町プラザが川から離れた場所に位置し，川に着くまでに様々な地域資源を見ることが要因と考えた．

郡上八幡駅では第一印象で「郡上八幡駅舎が古風だった」など駅舎に対する回答が集まり，到着地と

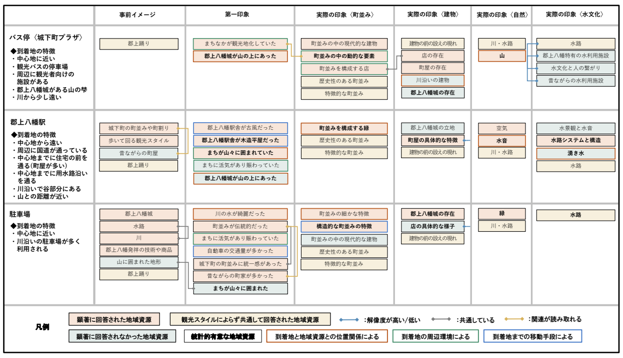

図-3 到着地による認識した地域資源の特徴

表-7 到着地と地域資源とのクロス集計表

	選択肢	総数	実測値			クラスターごとに占める割合(実測値による)			p値
			バス停(城下町プラザ)	郡上八幡駅	駐車場	バス停(城下町プラザ)	郡上八幡駅	駐車場	
事前イメージ (n=265)	回答数	265	50	60	155	100.0%	100.0%	100.0%	0.676
	郡上踊り	68	16	16	36	32.0%	26.7%	23.2%	0.457
	郡上八幡城	37	6	7	24	12.0%	11.7%	15.5%	0.697
	昔ながらの町家	24	6	2	16	12.0%	3.3%	10.3%	0.201
	城下町の町並みや町割り	30	5	9	16	10.0%	15.0%	10.3%	0.592
	水路	19	1	4	14	2.0%	6.7%	9.0%	0.242
	緑豊かな山々	12	2	3	7	4.0%	5.0%	4.5%	0.969
	郷土料理や名物グルメ	8	2	2	4	4.0%	3.3%	2.6%	0.867
	山に囲まれた地形	15	4	5	6	8.0%	8.3%	3.9%	0.326
	歩いて回る観光スタイル	10	1	3	6	2.0%	5.0%	3.9%	0.710
	郡上八幡発祥の技術や商品（食品サンプルやシルクスクリーンなど）	6	1	1	4	2.0%	1.7%	2.6%	0.913
	水利用システム(カワド、水舟、井戸など)	13	3	3	7	6.0%	5.0%	4.5%	0.914
	伝統的な技術や商品(郡上本染や郡上紬など)	4	1	2	1	2.0%	3.3%	0.6%	0.332
	郡上八幡駅	1	1	0	0	2.0%	0.0%	0.0%	0.116
	川(長良川や吉田川など)	15	1	2	12	2.0%	3.3%	7.7%	0.210
	宗祇水	2	0	0	2	0.0%	0.0%	1.3%	0.489
	寺院	1	0	1	0	0.0%	1.7%	0.0%	0.180
第一印象 (n=96)	回答数	96	18	22	56	100.0%	100.0%	100.0%	0.00015
	郡上八幡城が山の上にあった	20	5	1	14	27.8%	4.5%	25.0%	0.098
	まちが山々に囲まれていた	16	4	9	3	22.2%	40.9%	5.4%	0.001
	川の水が綺麗だった	11	1	2	8	5.6%	9.1%	14.3%	0.554
	町並みが伝統的だった	8	1	0	7	5.6%	0.0%	12.5%	0.178
	郡上八幡駅舎が古風だった	6	1	5	0	5.6%	22.7%	0.0%	0.001
	まちに活気があり賑わっていた	5	1	0	4	5.6%	0.0%	7.1%	0.441
	水音がよく聞こえた	4	0	1	3	0.0%	4.5%	5.4%	0.610
	自動車の交通量が多かった	5	0	1	4	0.0%	4.5%	7.1%	0.488
	まちなかが観光地化していた	5	4	0	1	22.2%	0.0%	1.8%	0.001
	城下町の町並みに統一感があった	3	0	0	3	0.0%	0.0%	5.4%	0.331
	昔ながらの町家が多かった	4	0	0	4	0.0%	0.0%	7.1%	0.225
	周囲の山の紅葉が綺麗だった	1	0	1	0	0.0%	4.5%	0.0%	0.183
	特産品や名物グルメが美味しそうだった	2	1	0	1	5.6%	0.0%	1.8%	0.459
	駅舎が木造平屋だった	2	0	2	0	0.0%	9.1%	0.0%	0.032
	空気が綺麗だった	2	0	0	2	0.0%	0.0%	3.6%	0.482
	水路がまちに張り巡らされていた	1	0	0	1	0.0%	0.0%	1.8%	0.697
	飲食店や販売店が多かった	1	0	0	1	0.0%	0.0%	1.8%	0.697
実際の印象〈町並み〉 (n=384)	回答数	384	68	96	220	100.0%	100.0%	100.0%	0.026
	身体感覚による町並みの雰囲気	5	2	0	3	2.9%	0.0%	1.4%	0.260
	町並みの中の現代的な建物	9	4	3	2	5.9%	3.1%	0.9%	0.051
	町並みの中の動的な要素	36	11	10	15	16.2%	10.4%	6.8%	0.063
	町並みの細かな特徴	42	6	8	28	8.8%	8.3%	12.7%	0.427
	町並みを構成する緑	17	2	8	7	2.9%	8.3%	3.2%	0.099
	歴史性のある町並み	120	22	30	68	32.4%	31.3%	30.9%	0.975
	特徴的な町並み	99	15	25	59	22.1%	26.0%	26.8%	0.734
	町並みを構成する店	24	6	4	14	8.8%	4.2%	6.4%	0.476
	構造的な町並みの特徴	32	0	8	24	0.0%	8.3%	10.9%	0.017
実際の印象〈建物〉 (n=411)	回答数	411	71	94	246	100.0%	100.0%	100.0%	0.039
	郡上八幡城の立地	60	11	9	40	15.5%	9.6%	16.3%	0.287
	郡上八幡城の存在	18	0	3	15	0.0%	3.2%	6.1%	0.071
	店の存在	6	3	3	0	4.2%	3.2%	0.0%	0.009
	店の具体的な様子	60	15	12	33	21.1%	12.8%	13.4%	0.228
	現代的な建物	13	4	2	7	5.6%	2.1%	2.8%	0.402
	川沿いの建物	70	10	16	44	14.1%	17.0%	17.9%	0.754
	建物の前の設えの現れ	35	6	8	21	8.5%	8.5%	8.5%	1.000
	町屋の具体的な特徴	74	15	17	42	21.1%	18.1%	17.1%	0.736
	町屋の存在	75	7	24	44	9.9%	25.5%	17.9%	0.035
実際の印象〈自然〉 (n=415)	回答数	415	76	97	242	100.0%	100.0%	100.0%	0.025
	山	66	20	12	34	26.3%	12.4%	14.0%	0.021
	緑	43	3	8	32	3.9%	8.2%	13.2%	0.051
	水音	68	8	22	38	10.5%	22.7%	15.7%	0.091
	空気	31	5	10	16	6.6%	10.3%	6.6%	0.478
	川・水路	207	40	45	122	52.6%	46.4%	50.4%	0.694
実際の印象〈水文化〉 (n=358)	回答数	358	59	87	212	100.0%	100.0%	100.0%	0.168
	水景観と水音	72	16	12	44	27.1%	13.8%	20.8%	0.134
	郡上八幡特有の水利用施設	44	4	11	29	6.8%	12.6%	13.7%	0.359
	湧き水	40	8	6	26	13.6%	6.9%	12.3%	0.334
	水路システムと構造	54	7	20	27	11.9%	23.0%	12.7%	0.060
	水文化と人の繋がり	39	5	9	25	8.5%	10.3%	11.8%	0.756
	水路	93	18	22	53	30.5%	25.3%	25.0%	0.685
	昔ながらの水利用施設	16	1	7	8	1.7%	8.0%	3.8%	0.142

※カイ二乗検定のp値が10%水準を満たす場合黄色で着色，5%水準を満たす場合赤色で着色．

移動手段の影響が示された．また「郡上八幡城が山の上にあった」と「まちに活気があり賑わっていた」が回答されず，前者は駅が郡上八幡城のある中心地から離れていること，後者は駅周辺に国道が通り，車が多いため人の活動が見られないことが要因と考えられる．一方で「町並みを構成する緑」や「水音」を認識しており，これは駅から中心地までの移動中に様々な家前の植栽を見ることや，用水路沿いを歩くことが要因と考えられる．

駐車場では，第一印象で「自動車の交通量が多かった」と感じており，同じ交通手段を利用していることが大きな要因と考えられる．また，「街に活気があり賑わっていた」は，駐車場が中心地に近く人が多いこと，「川の水が綺麗だった」は川沿いの駐車場が多く利用されることが要因と考えられる．

6. 結論

本研究では，第一に観光者による観光スタイルの特性に着目し，郡上八幡に訪れた観光者を「観光マップ型」「オリジナリティ追及型」「観光ツウ型」の3タイプに類型した(3章(2))．各類型の特徴として，関心のある地域資源が異なること，旅行頻度が異なることが明らかになった．また，各類型による郡上八幡の来訪形態の特徴を捉え，観光スタイルの嗜好が反映された形態であることが示された（3章(3)）．

次に，観光スタイルによる3類型と郡上八幡の地域資源に対する認識との関係を捉えた．これより，各類型によって地域資源に対する認識の解像度が異なることと，関心のある地域資源を事前イメージや実際の印象として認識する傾向が明らかになった(4章)．また認識の解像度は，旅行頻度が多いほど高いといった旅行頻度との関係が示された．

最後に，来訪時の到着地と郡上八幡の地域資源に対する認識との関係を捉えた．結果，到着地の周辺環境と到着地と地域資源との位置関係により，認識する地域資源が異なることが示された．(5章)．

以上の本研究の成果から，郡上八幡の観光では観光者によって地域資源の楽しみ方が様々で，観光名所から住民の日常生活によって形成される地域資源まで多様な地域資源が観光者を魅了していることが明らかとなった．今後の展望として，観光スタイルや到着地といった観光者の特性による地域資源の楽しみ方の傾向をふまえて観光のアプローチを考えることで，新たな方向性が示されると考える．

＜参考文献＞

1) 国土交通省 HP：２.ニューツーリズムの概念
2) 国土交通省 HP：着眼点 1-1 「外からの視点」～地域資源・既存資産を活用する～
3) 国土交通省 HP：観光まちづくりガイドライン（概要版）
4) 郡上市 HP：第 2 期郡上市観光振興ビジョン
5) 和田 有朗， 前田 倫太郎：観光者の八幡堀に対する価値評価に関する研究，環境情報学，51 巻，4 号，pp. 77-82， 2022.
6) 奥 敬一, 深町 加津枝, 三好 岩生, 堀内 美緒：大井川中流域の茶園卓越景観における日中の来訪者による景観認識比較，ランドスケープ研究，72 巻，5 号，pp. 657-660，2009.
7) 岡田祐成， 畔柳昭雄， 菅原遼：来訪者の SNS の投稿より捉えた離島の魅力要因及び心象風景，環境情報科学学術研究論文集，36 巻，pp. 156-160，2022.
8) 前田茜， 後藤春彦， 佐藤宏亮：屋久島の里地における地域資源への来訪者の流入と集落の対応に関する研究，都市計画論文集，45. 3 巻，pp. 817-822，2010.
9) 赤沢 克洋，福谷 紗矢：歴史的町並みの魅力と観光者類型に関する定量分析，農林業問題研究，50 巻，2 号，pp. 125-130，2014.
10) 島本 憲一：国内観光宿泊旅行に関する年代別・消費項目別の消費状況の類型による分析，都市計画報告集，16 巻，4 号，pp. 294-296，2018.
11) 家田 雅之， 佐々木 葉， 烋塲 星澄：郡上八幡における町並みを構成するファサードの特徴と変化， 景観・デザイン研究講演集， No. 17， pp. 324-329，2021
12) 猪股 誠野， 佐々木 葉：郡上八幡における水利用施設の管理実態にみられる多様性と主体性について，土木計画学研究・講演集， Vol. 55， 論文番号 59-08， 2017.
13) 橋本 優華， 佐々木 葉：共同でのものづくりを伴う地域行事の特質と意義に関する研究 －岐阜県郡上市八幡町における春祭りを対象としてー， 景観・デザイン研究講演集， No. 11， pp. 263-270， 2015.
14) 土田栞， 佐々木葉：買い物行為を通した商店街店舗に対する主体の価値意識に関する研究-岐阜県郡上市八幡町を対象として-，早稲田大学修士論文，2019.
15) 日本人の国内旅行，第 1 編日本人の旅行市場，旅行年報 2020，公益財団法人日本交通公社，https://www.jtb.or.jp/wp-content/uploads/2020/10/nenpo2020_1-2.pdf，（2024 年 1 月 19 日最終閲覧）